

「片側頸部悪性リンパ腫における Field in field 法の有用性」

へのご協力をお願い

—平成 14 年 4 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日までに当科において悪性リンパ腫で片側頸部照射を受けられた方へ

研究機関名 岡山大学

責任研究者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学 教授 金澤 右

分担研究者 岡山大学病院 放射線科 片山 敬久

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学 大学院生（医師） 山下 真子

1. 研究の意義と目的

片側頸部の悪性リンパ腫に対して、放射線治療は標準的な治療となっています。

放射線治療計画を行う際には、適正な処方線量を付与するとともに、照射野に入る正常臓器への照射をできるだけ減らす努力をしています。

そこで、今回の研究では患者様が受けられた治療時に撮像された CT 画像を用いて、2 つの標準的な照射方法で再計画を行い、比較検討することにより、よりよい照射方法を検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

平成 14 年 4 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日に岡山大学病院を受診し、頸部悪性リンパ腫の治療を受けられた 32 名

2) 研究期間：

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科倫理委員会承認後～平成 26 年 8 月 31 日

3) 研究方法：

以前治療を受けられた際に撮像された CT 画像を用いて、治療計画装置上で 2 つの照射方法を作成し、コンピューター上で算出されたデータを抽出し、比較検討する研究です。

本研究は、当院の倫理委員会の承認を得ております。この研究は、ヘルシンキ宣言（2008 年版）・臨床研究に関する倫理指針（厚生労働省）を遵守します。

4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・年齢・性別・病理組織型
- ・治療計画時に撮像した CT 画像

5) 情報の保護：

解析にあたっては、個人情報は匿名化し、その保護には十分配慮します。学会や論文などによる結果発表に際しては、個人の特定が可能な情報はすべて削除されます。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成 26 年 5 月 31 日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 放射線科 助教

氏名：片山 敬久

電話：086-235-7313 ファックス：086-235-7316

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科放射線医学 大学院生（医師）

氏名：山下 真子

電話：086-235-7313 ファックス：086-235-7316